

2018年度 事業報告

(事業報告は、定款第4条の8の事業に沿って報告)

I 訪問看護事業に関する情報交換、連携、調整等によるネットワーク強化事業

1. 総会開催

開催日：平成30年7月14日(土)

場 所：兵庫県看護協会 研修室3

参加事業所数：出席会員93事業所、委任状提出166事業所 合計259事業所

2. 理事会の開催(理事会報告参照)

・5月、7月、9月、12月、3月

3. ブロック活動の推進(ブロック活動報告参照)

・ブロック活動をさらに推進し、ネットワークを強化した。

4. 委員会活動の推進(委員会活動報告参照)

・委員会ごとに活動を実施した。

5. 訪問看護に関する周知活動

・多職種連携会議、地域ケア会議へ積極的に参加し、地域で訪問看護の役割を発揮した。

6. 会員増加への働きかけ

・非会員への広報を推進し、入会に向けて、協議会事務局・ブロックからの働きかけをした結果、平成30年度会員数は、449件(団体会員11、訪問看護ステーション437事業所、個人会員1名)となり、前年度より4件増加した。

・賛助会員は、昨年度より1社減の9社であった。

II 訪問看護の質向上に関する研修会、講演会等の開催

1. 総会併催研修

開催日 平成30年7月14日(土) 15:05~16:15

場 所 兵庫県看護協会 研修室3 参加者123名

テーマ これからの訪問看護に期待するもの ~平成30年度の改定をふまえて~

講 師 公益社団法人 日本看護協会 副会長 齋藤 訓子 氏

2. 委員会活動

1) 訪問看護質向上委員会 研修会開催(委員会活動報告参照)

(1) 訪問看護師のための接遇・マナー力向上研修会

開催日 平成30年9月1日(土) 13:30~16:30

場 所 兵庫県看護協会2階ハーモニーホール 参加者116名

テーマ 訪問看護師のための接遇・マナー力向上研修会

講 師 a.s.academy sharing 代表 桑原 あずさ 氏

一般財団法人 芦屋ハートフル福祉公社 芦屋市訪問看護ステーション 所長
友原 明子 氏

(2) 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおけるガイドライン研修会

開催日 平成30年11月10日(土) 13:30~16:00

場 所 兵庫県看護協会 研修室3 参加者131名

テーマ 「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスにおけるガイドライン」を踏まえた支援とは

講 師 医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック 院長 白山 宏人 氏

3. ブロック内での研修会開催(ブロック活動報告参照)

4. 兵庫県看護協会が行う訪問看護人材育成関係の研修会参加

- | | | |
|------------------------------|-----|-----------------------------------|
| 1) 訪問看護ステーション管理者研修 | 参加者 | 51名 |
| 2) 訪問看護ステーション管理者初級研修 | 参加者 | 47名 |
| 3) 訪問看護導入研修（一般編） | 参加者 | 第1回 49名
第2回 88名 |
| 4) 機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー | 参加者 | 23名 |
| 5) 看-看連携研修（研修受入ステーション：36事業所） | 参加者 | 112名
6ステーションから9名
18病院から103名 |

III 訪問看護事業における管理者育成及び運営改善に対する課題検討、政策提言等に関すること

1. 訪問看護ステーション運営における自己評価ガイドラインの普及
 - ・運営改善委員会にて、ガイドラインの普及について検討した。（運営改善委員会報告参照）
2. 管理者育成
 - ・全国訪問看護事業協会総会・事業者（管理者）大会や厚生労働省委託事業「平成30年度在宅医療関連講師人材養成事業（訪問看護分野）」「訪問看護講師人材養成研修会」に人材を派遣し、管理者の育成を支援した。

IV 地域包括ケア推進における関連団体との連携・協働推進事業

1. 理事会・ブロック活動
 - ・理事会において、他団体との連携・協働推進を図った。
 - ・ブロック活動では、多職種連携研修や地域ケア会議に参加し、地域包括ケア推進を図った。
2. 地域ケア推進委員会活動
 - 1) 多職種との連携推進について情報収集、検討を行った。
 - 2) 多職種研修会開催
開催日 平成31年3月2日（土） 14:00～16:00
場 所 兵庫県看護協会 研修室3 参加者 43名
テーマ 在宅訪問栄養士との連携を考えよう
講 師 公益社団法人 兵庫県栄養士会 会長 榊 由美子 氏
3. 兵庫県看護協会の実施する訪問看護人材育成関係事業に連携を行った。

V 訪問看護事業の普及啓発に関する事業

1. ホームページの活用
 - ・兵庫県訪問看護ステーション協議会活動や研修会の案内等を行い、訪問看護の普及を図った。
 - ・訪問看護ステーションマップを更新し、地域住民、他施設、他職種が活用できる様にした。
2. 広報誌の活用
 - ・10月・2月に発行し、兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会活動の周知を行った。
3. ブロック活動
 - ・多職種連携会議、地域ケア会議へ参加した。（ブロック活動報告参照）

VI 訪問看護事業に関する行政等からの通知及び情報の周知

1. 総会時、訪問看護事業に関する県の支援について周知を行うため、行政からの情報提供を行った。
2. 発送（6回）、メール（117件）やホームページ（11件）に掲載し、情報の周知を図った。
（詳細は資料参照）

Ⅶ 訪問看護事業の経営及び訪問看護の質の確保・向上等に関する調査研究

Ⅷ その他、本会の目的達成に必要な事項

1. 日本看護協会 訪問看護連絡協議会全国会議
平成 30 年 11 月 16 日（金） 場所：日本看護協会 JNA ホール 2 名出席
2. 近畿ブロック訪問看護ステーション連絡協議会会議・懇親会
平成 30 年 5 月 18 日（金） 場所：奈良商工会議所 2 名出席
3. 全国訪問看護事業協会
 - 1) 総会・講演・都道府県訪問看護ステーション連絡協議会交流会
平成 30 年 6 月 20 日（水） 品川フロントビル 1 名出席
 - 2) 厚生労働省委託事業「平成 30 年度在宅医療関連講師人材養成事業（訪問看護分野）」
「訪問看護講師人材養成研修会」
平成 30 年 11 月 30 日（金） CIVI 研修センター秋葉原 2 名出席
 - 3) 総会・事業者（管理者）大会 平成 31 年 3 月 1 日（金）日本医師会館 1 名出席
4. 公益財団法人日本訪問看護財団「訪問看護サミット 2018」
平成 30 年 11 月 11 日（日） 場所：ベルサール新宿グランド ホール（東京・新宿） 1 名出席
5. 行政、他団体への後援・共催 共催（1 件）、後援（5 件）

行政・他団体への後援・共催	
バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～ バクバクの会定期総会&講演会 in ひょうご 後援名義使用について	後援承諾
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団 第 9 回 近畿在宅医療推進フォーラム 共催依頼申請書	共催承諾
兵庫県プライマリ・ケア協議会 第 10 回摂食嚥下障害研修会に関する後援並びに周知方依頼について	後援承諾
一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団 口腔ケアに関するシンポジウムのご後援名義使用について	後援承諾
第 39 回近畿作業療法学会の後援名義使用について	後援承諾
日本プライマリ・ケア連合学会 第 33 回近畿地方会 後援並びに周知方依頼について	後援承諾

6. 会議への委員の推薦（19 件・31 名）

行政・他団体への推薦	氏名
「平成 30 年度 灘区在宅ケア推進会会議」委員	久米律子
「平成 30 年度 兵庫区医療介護連携推進協議会」委員	出口隆子・井上佳子
「平成 30 年度 神戸市兵庫区医師会地域医療連携委員会」委員	竹村千佐子・植野景子
「平成 30 年度 課題抽出会議」委員	北岡奈穂美・宮田汰加子
「平成 30 年度 研修会検討小委員会」委員	井手豊香
「平成 30 年度 資源マップ作成委員会」委員	金井宴子
「平成 30 年度 長田区医療介護多職種連携会議」委員	徳山久恵
「平成 30 年度 地域連携会議」委員（垂水） 地域ケア推進検討委員会	小谷純子・横山美穂

勉強会検討小委員会	加藤美奈子・金田永子・笠間律子
看取り検討小委員会	瀧口里美・升迫千代美・畠山育子
緊急時医療介護連携小委員会	池田久美子・石井加代
マネジメントタイム小委員会	森川えみ・三木寿里
制度のはざま検討小委員会	宝満博子・山本公子
垂水認知症検討委員会	大迫弘美・塩田明美・信川千賀子
「神戸市精神保健福祉施策懇話会」委員	横山由紀子
「神経難病医療ネットワーク支援協議会」委員	嶋村尚代
「医療的ケア児支援連携協議会」委員	太期美恵子
「兵庫県プライマリ・ケア協議会」幹事	森和美
兵庫県介護福祉士会 たん吸引研修事業 試験委員会	徳山美貴
兵庫県介護福祉士会 たん吸引研修事業 検討委員会	徳山美貴